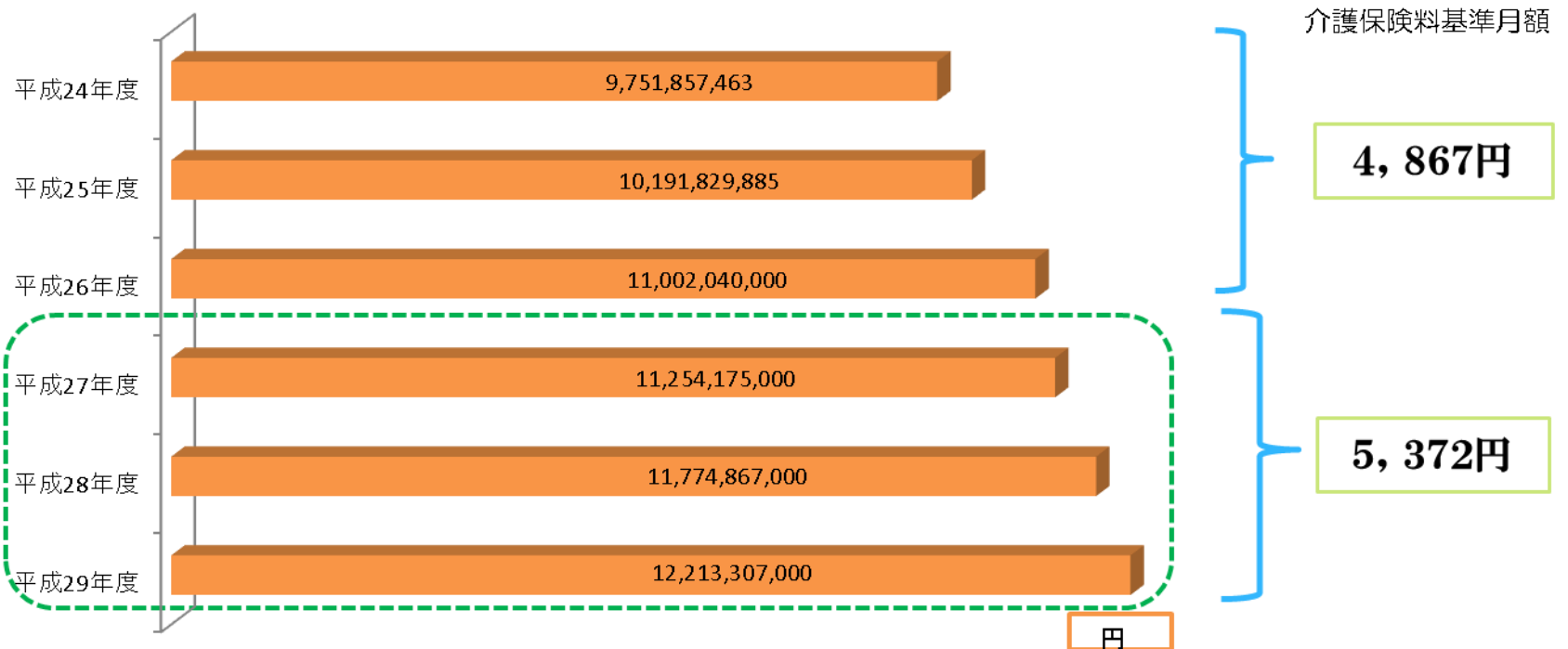


3. 苫小牧市の状況 ⑤

苫小牧市の介護保険標準給付費



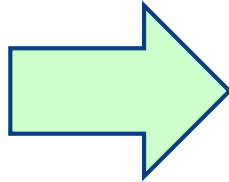
3. 苫小牧市の状況 ⑥

今後の方向性

人口減少社会

+

担い手の不足



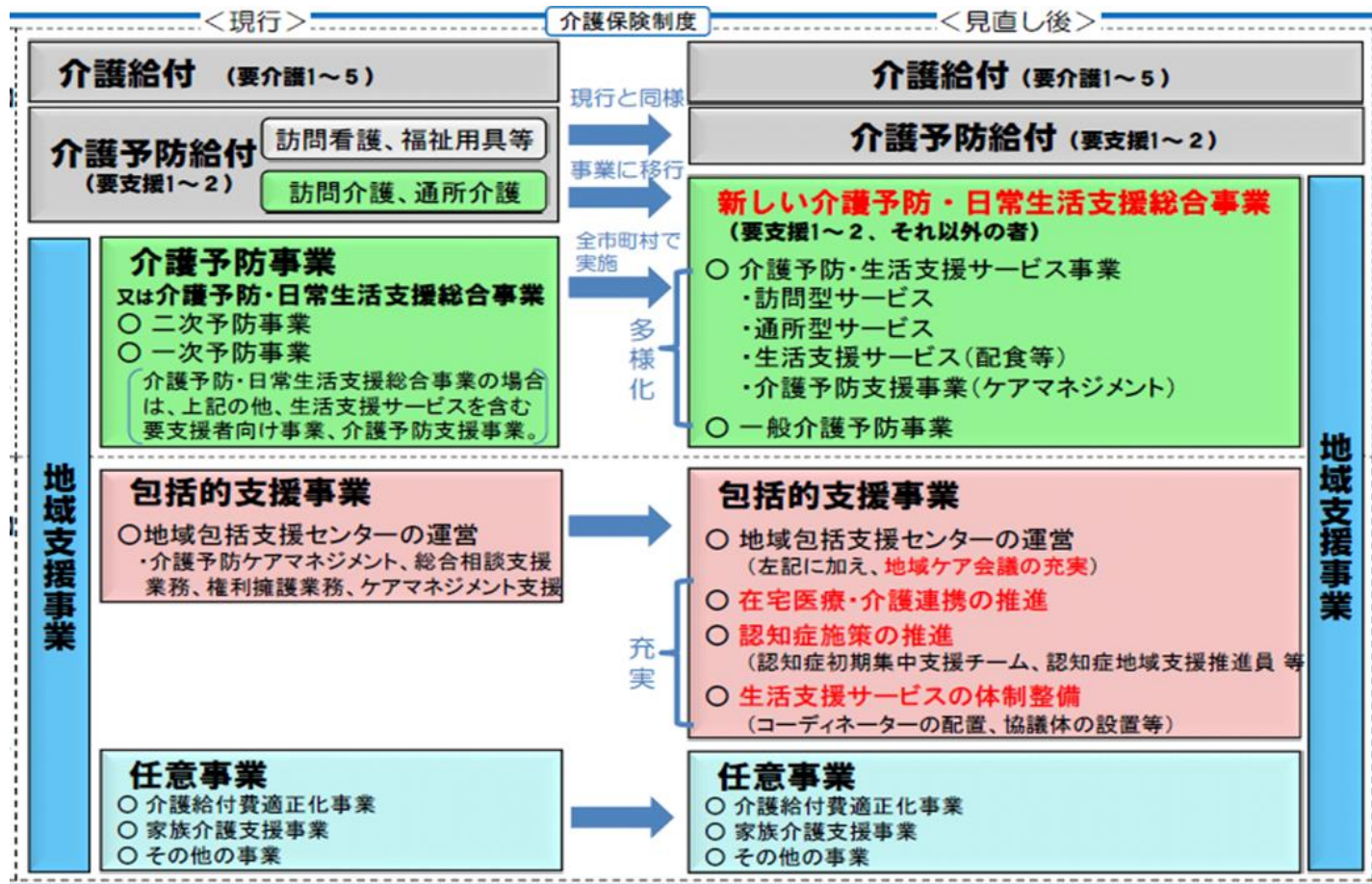
増大する地域のニーズに応える方法

- ① 活動的生活の継続による「介護予防」の強化
- ② 専門職以外の「生活支援の担い手の確保」

4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ①

総合事業の概要

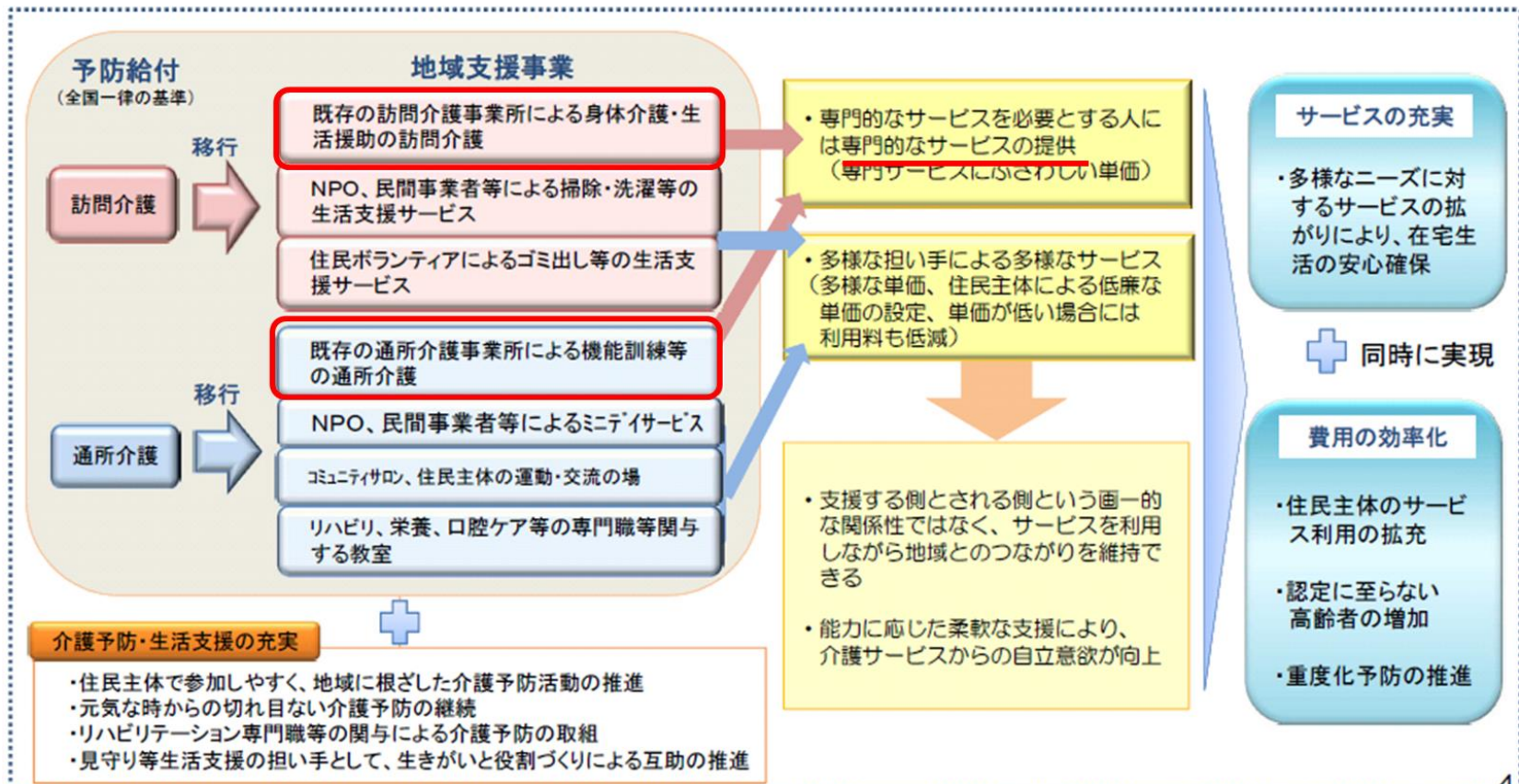
予防給付のうち訪問介護・通所介護について、市町村が実情に応じた取り組みができる「**介護予防・日常生活支援総合事業**」へ移行



4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ②

総合事業の趣旨

総合事業は市町村が中心となり、地域の実情に応じて住民等の多様な主体が参画することでサービスを充実を図ることによる、地域の支え合い体制づくりの推進、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を目的とする



4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ③

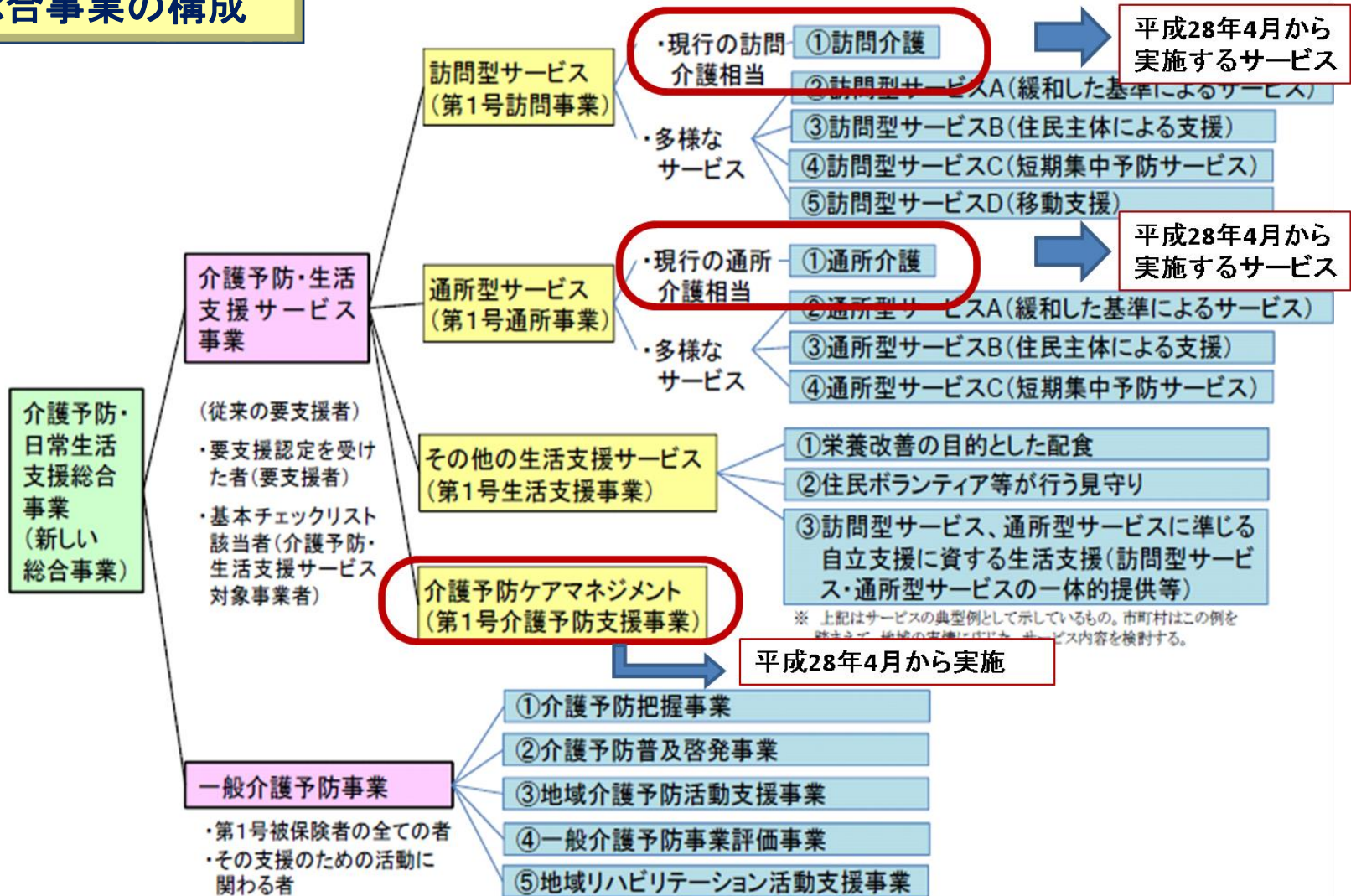
苫小牧市の今後の必要な取組み

- 高齢者が「要介護状態になることをできる限り防ぐ(遅らせる)」「要支援・要介護状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ことにより、住み慣れた地域において自立した日常生活をおくれるような支援
- 高齢者が地域の中で人とのつながり、生きがいや役割を持って生活できる多様で柔軟な生活支援が受けられる地域の支え合いの仕組みづくり、地域づくりの推進



4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ④

総合事業の構成



4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ⑤

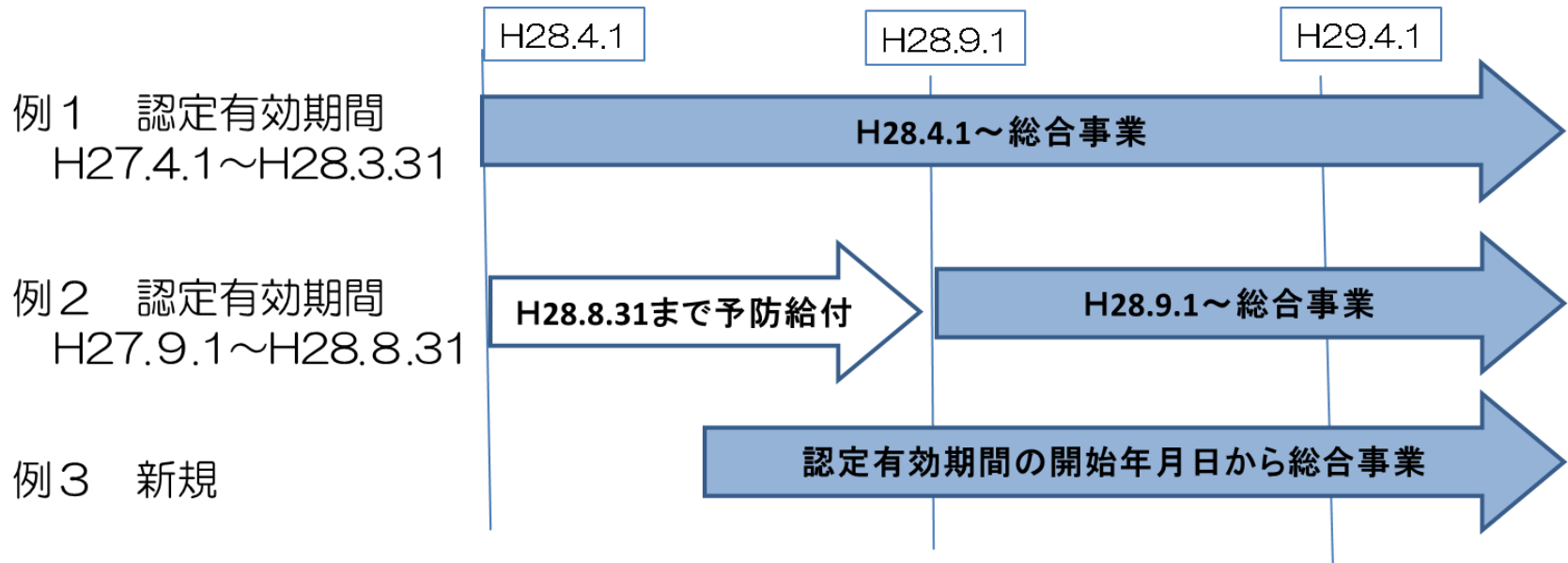
サービス利用の流れ(案) ①

【対象者】

H28年4月以降に新規・区分変更・更新により要支援認定を受けた方

※ 認定有効期間の開始年月日がH28年4月以降の要支援者

※ H29年以降、地域資源整備の進捗に応じて基本チェックリストのあり方を検討



※認定有効期間は、総合事業に移行により、原則12か月、上限24か月に延長となる。

4. 介護予防・日常生活支援総合事業の移行について ⑥

サービス利用の流れ(案) ②

